

市民・企業・行政が協創する地域環境マネジメント ～ 地域環境プランナー制度への展望～

最近では、環境基本計画をはじめ環境行政に関するさまざまな計画・構想の策定にあたって、市民参加型で進める自治体が増えています。地域の市民の参加領域は、計画の実施段階やその成果の評価などにも拡大することが見込まれます。

しかし、ほとんどの自治体では、計画の実効性や成果の評価を行い、施策の有効性をアピールしようとしても、そのための人材も方法も見出せず、地域の環境活動を進める上で非常に大きな課題となっています。

国や県が制度化している環境カウンセラーや環境アドバイザーなどを有効に活用している自治体もありますが、それらは必ずしも地域に密着した存在ではなく、計画の策定から実施、事後の評価までを総合的にカバーするものでもありません。

(株)日本総合研究所では、こうしたことを背景に「地域環境プランナー」の必要性や制度化の可能性について検討をしてまいりました。

このシンポジウムでは、環境自治に関する第一線の研究者、行政関係者、市民活動関係者および企業人をお招きし、地域の市民・企業・行政の三者が協働して進める環境行政の現状や課題についてお話いただくとともに、「地域環境プランナー」のあり方についてともに考えてまいりたいと存じます。

会場

<日時> 平成16年7月9日(金)

12:30受付開始 シンポジウム13:00~16:30

<場所> 全国情報サービス産業厚生年金基金(JJK)会館
2階 多目的ホール(受講申込書の地図参照)

東京都中央区築地4-1-14

地下鉄:東銀座駅 6番出口 徒歩3分

築地市場駅 A3出口 徒歩3分

受講料

無料

(但し、定員以上に達した場合は、先着順とさせていただきます)

シンポジウムのねらい

これからの地域の環境行政には、地域の市民、企業、行政がそれぞれの義務と責任のもとに連携して進める「環境ガバナンス」の考え方が必要です。また、計画の立案だけでなく、計画の実施と活動成果の評価にも大きく着目する「環境マネジメント」の方法を確立することも重要です。

「地域環境プランナー」とはこうした認識の下に検討された仕組みであり、環境に関する計画の立案、実施、評価を行うことができる人材を育成し、かつ彼らが活動できる場を設定したり、計画の進捗などを評価するためのツールを整備したりすることによって、市民参加型の地域環境マネジメントを推進しようとする考え方です。

このシンポジウムでは、こうした論点をふまえ、環境自治の一線の方々からお話いただきます。

プログラム

13:00～ 開会

(1) 基調講演: 「3つの市民」が奏でる環境ガバナンスの可能性(仮題) 早稲田大学教授 寄本 勝美

(2) 解説: 地域環境プランナー制度の見取り図(日本総研)

～ 休憩 ～

(3) パネルディスカッション: 市民・企業・行政の協創による地域環境マネジメントに向けて

- | | | |
|----------------------------------|--------------|-------|
| ・八王子市の環境政策～環境診断士と「ちえっくどぅ」 | 八王子市環境部環境政策課 | 穴井 誠二 |
| ・市民主体のまちづくりの推進～町田市のまちづくりプランナーの試み | 環境自治システム研究所 | 渋谷 謙三 |
| ・市民エンパワーメントの源流～目黒区の取り組み～ | リサイクルめぐる推進協会 | 杉村 悦子 |
| ・環境改善に向けた市民と企業の協働 | セブンイレブン・ジャパン | 山口 秀和 |

16:30～ 閉会

講師・パネリストのプロフィール

寄本 勝美

早稲田大学政治経済学部教授。環境プランニング学会理事。専門: 地方自治論ならびに環境政策。国や自治体の多くの環境関連委員会の委員や市民活動への参画など、幅広い活動をしている。主著に「ゴミ戦争 地方自治の苦悩と実験」、「現場の思想と地方自治」、「自治の現場と参加」など多数。

穴井 誠二

八王子市環境部環境政策課長。環境部公害対策課公害対策係、水道部工務課水質係、環境部環境保全課公害対策係主査等を経て平成13年4月 環境部環境保全課長。平成15年8月より現職。

渋谷 謙三

環境自治システム研究所代表
町田市の職員として「市民サロン」などユニークな制度を展開する一方、市民・企業・行政が一体となったまちおこし運動を推進。退職後、東京・多摩リサイクル市民連邦の設立に携わり、地域活動を進めている。

杉村 悦子

リサイクルめぐる推進協会職員。麻布大学環境保健学部非常勤講師。
住民として目黒区のリサイクル事業構築に参画し、更に目黒区リサイクル推進指導員としてリサイクル啓発事業、リサイクルプラザ、リサイクルショップ運営団体の立ち上げや育成に携わる。平成7年4月より「リサイクルめぐる推進協会」に移籍。

山口 秀和

株式会社セブンイレブン・ジャパン環境推進部総括マネジャー
コンビニの店舗から発生する廃棄物のエコ物流やリサイクル事業の推進など、自治体、事業者、市民の間を調整しながら、循環型社会づくりに向けた仕掛け作りに成果をあげている。同社が運営する基金では、環境活動団体への支援も行っている。